



杉山さんから正しいボールの投げ方を教わる江刈小児童ら

プロ野球選手との交流 野球の魅力を再発見！

元プロ野球選手で野球解説者の杉山賢人さんを講師に迎えた野球教室が9月14日、江刈小学校（湯原尚子校長・生徒37人）で開催され、子どもたちは野球の楽しさや努力することの大切さを学びました。

同教室には、3年生から6年生までの26人が参加し、キャッチボールやバッティング練習を楽しみました。杉山さんからは、速く走るコツやボールの投げ方、バッティングの方法について指導があり、生徒らは真剣に耳を傾け、白球を追いかけていました。教室終了後に、角地真桜さん（6年）が「ボールの投げ方やバッティングがよく分かり、うれしかったです」とお礼のことばを述べました。



寄贈された金網かごで衛生的になっと喜ぶ糠森由光さん

小岩金網から葛巻町へ 金網かご100基寄贈

町内に企業の森を開設するなど町と緑のある小岩金網株式会社（西村専次社長：本社東京都）から、金網かご「コイワレット」を100基（200万円相当）、町に寄付していただきました。この活用については、各自治会や学校などへ呼び掛け、8月末までに希望する団体へ配分されました。

新町自治会では、金網かごをごみの収集に活用し、3カ所に設置。同会環境衛生部長の糠森由光さんは「カラスが来なくなりました。雨よけのために、フタもつけたのでより衛生的になりました」と喜んでいました。

この「コイワレット」は、1,000*まで積載することができる金網かごで、小さなスペースで折りたたむこともできます。

わたしの主張地区大会 江中岩下さんが優秀賞

わたしの主張北岩手地区大会は8月30日、沼宮内中学校（岩手町）の体育館で開催され、江刈中3年の岩下太祥さんが第3位にあたる優秀賞に見事輝きました。

岩下さんは、「感謝…ありがとう」と題し生徒会や陸上、野球部の活動で忙しい日々を過ごす一方、なにひとつ結果を出せないことへのいら立ち、迷いから救ってくれたのは家族、先生、友人たちだったということを生きて生きと発表しました。結果を受け岩下さんは「感謝の気持ちが一人でも多くの人に伝わるよう表現したかった。入賞できてうれしい」と満足そうな笑顔を見せていました。



一人でも多くの人に気持ちが伝わるよう「声」と「体」で精一杯表現した岩下さん

チャンピオンを目指せ 極真空手葛巻教室開設

9月1日、当町に国際空手道連盟極真会館葛巻支部（千葉勝男責任者）が開設されました。同道場には、9歳から63歳までの9名の生徒が入門し、毎週木曜日に空手の稽古に励んでいます。16日は、江刈小学校体育館で練習が行われ、本部直轄の岩手道場指導員で東北チャンピオンの松村典雄二段の指導の下、道場生らは基本稽古、ミット打ち、スパーリングなど約2時間に渡ってみっちり汗を流しました。

黒帯になることが目標という松山桃果さん（江刈小5年）は「だんだんパンチやキックがうまく出せるようになってきました。空手は楽しいです」と笑顔を見せていました。



松村指導員を相手に真剣にパンチを繰り出す道場生



桂小文治さんが落語の特徴をわかりやすく説明しました

桂小文治さんらを招き 五日市小で落語楽しむ

五日市小学校（中田直雅校長・児童39人）では9月27日、落語教室が行われ同校や江刈小学校の児童や五日市保育園の園児、保護者や地域の人約100人が桂小文治さんらの落語を楽しみました。

はじめに、表情や声の使い分け、役の演じ分けなど落語の特徴をわかりやすく説明。また、寄席の一番太鼓や二番太鼓の音に意味があることを語り、子どもたちは実際に太鼓を打ち方を教わりました。

その後、昔昔亭桃之助さんが「狸礼」を、桂小文治さんは「転失気」を巧みな演技で子どもたちを引き込み、会場は笑いに包まれました。



炎天下でも集中してプレーする小田チームの選手

合併55周年を記念して ゲートボール交流大会

第1回葛巻町近隣市町村ゲートボール交流大会は9月5日、総合運動公園ゲートボール場で開催され、「小田」が第3位、「くすまき西」が第4位に入賞しました。この大会は、町村合併55周年を記念して初めて開催。ゲートボール愛好者ら近隣市町村から25チームが参加しました。

主催の葛巻町ゲートボール協会の土谷育造会長は「近隣市町村からたくさんのチームが参加していただきありがたい。地元のスタッフが少ないので心配しましたが、参加チームのご協力によりスムーズに進めることができました」と大会を振り返りました。

【結果】優勝：金田一（二戸市）、第2位：滝沢A（滝沢村）